

昭和五十四年衆議院議員選挙における政見放送

(昭和五十四年十月)

香川県第二区の大平正芳であります。

曰くは、郷里の皆さまからお心のごもったご支援を頂いております。昨年暮、私は、はからずも、政権をあずかることになりましたが、それから今日まで十月、幸いに大過なくこの重い任務を果たすことができました。これはひとえに、皆さまの力強いご支援の賜ものであります。ここに改めて厚く厚くお礼を申し上げます。私はこんごも全力を傾けて重責を果たし、皆さまのご期待に応えたいと念じております。一層のご鞭撻をお願い申し上げます。

私は、このたび、衆議院を解散し、総選挙をお願いすることにいたしました。前回の総選挙から三年近くの時日が経過し、幸いに景気も回復しました。ここらあたりで思い切って政局の一新をはかり、新しい体制と新たな決意で、きびしい内外の課題に立ち向かう必要を痛感したからであります。皆さまのご理解をお願いいたします。

第一に、私は何よりもまず、公正と清潔を旨として仕事に当たることをお誓い申し上げます。私自身が日夜、自粛自戒して事に当たらなければならぬことはもとよりであります。同時に、私が率いる政府と自由民主党が、その綱紀を正すことが必要であります。

ところが、不幸にして政府の一部に給与の支払いに不正があったり、航空機輸入問題につき、自由民主党の一部が疑惑を招くことになったことはまことに残念であり、大変申し訳なく存じております。この上は、それらの真相を明らかにするとともに、その責任をただし、法に照し、厳正に処理してまいる積りであります。また、この種の事件の再発防止のため、最善をつくすことが私の責任であると考えております。私はすでに、個人の政治資金の明朗化をはかる政治資金規正法の改正、各種規制法規の整備強化その他行政の公正を保証するに足る諸々の措置を講ずる仕事にとりかかっております。

第二に、私は、石油その他物資の供給を確保し、物価の抑制に努め、国民生活の安定に努力いたします。この十年間、外国から輸入する石油その他の物資は大幅に値上がりしましたが、その間、幸いに消費者物価は約二倍に止まり、賃金・給料は約五倍に増加しております。従って、国民の実質所得は向上を示しております。

第三に、私は、向こう、四、五年の間に中央地方を通じて、赤字財政を建て直し、手堅い金融政策と相俟って、インフレの防止に全力を傾けます。インフレは年金や貯金を目減りさせ、国民を怠け者にし、経済の秩序をこわし、弱い立場の人々をいよいよ不利においこむ病根であるからであります。

また、財政を再建し、インフレを防ぎ、国民生活を守るため、私は、歳入歳出の両面にわたり、あらゆる必要な手だてを講じてまいる積りであります。

第四に、私は、信義と責任を重んずる外交を展開し、国益を守り抜く決意であります。米国との友好と同盟の関係を堅持しつつ、中国やソ連との友好と交流を促進し、発展途上国に対しては、応分の経済や技

術の協力を行い、日本の責任を果たしてまいれる考えであります。

最後に、私は、香川用水と瀬戸大橋時代を迎えた郷土の開発に、皆さまとともに一層努力する決意であります。われわれの郷土の文化と教育、福祉と産業が行き届いた施策の下で、希望と活力に満ちたものになるよう努めてまいります。

大平正芳であります。引き続き変わらぬご支援をお願い申し上げます。